

静岡県議会議員

# A 西原あけみ Activity report

令和2年  
春号

(所属会派・自民改革会議)

アクティビティ レポート



## ご挨拶



こんにちは、西原あけみです。

昨年は、ラグビーワールドカップ2019日本大会で日本中が大いに盛り上がりました。エコパスタジアムで行われた日本対アイルランド戦は海外で「シズオカ・ショック」と言われる歴史的な試合となり「SHIZUOKA」の名が世界中に発信された年となりました。またそんな明るい話題の裏に、気候変動とともに異なる異常気象により、10月の台風19号の被害に悩まされたことなども記憶に新しいところです。

2020年は東京オリンピック・パラリンピックで再び日本選手の活躍する姿に感動と興奮で盛り上がることでしょう。また障がいのある人に対し、今以上に理解が深まる年となるよう期待するところです。

静岡県では、リニア中央新幹線建設工事において、山梨・静岡・長野の3県にまたがる南アルプスのトンネル工事によって大井川の流量減少や水質の悪化が懸念される問題で、今後、県とJR東海に国が加わり新たな協議の場が設けられようとしています。質・量とも失うことの無い様、この協議の場を一步でも前進させていくことに、県議会議員の立場として、取り組んでいかなければならぬと思っています。引き続き、地域の声に耳を傾け様々な問題解決に向けて頑張りますのでよろしくお願いいたします。

なお、不安とされている新型コロナウイルスの問題では厚生委員会の一員として、しっかり対応してまいります。

## 静岡県議会令和元年度定例会・一般質問

令和元年9月26日、県議会9月定例会にて、一般質問いたしました。(一般質問の要旨をご報告します。)



### 「がん緩和ケアの推進について」

**質問** がん患者やその家族の様々な悩みや、負担を和らげる緩和ケアの徹底した体制の整備が期待されている。また緩和ケア病棟が無い県中部地域での整備を含め、県としての取り組みを伺います。

▶ **健康福祉部長の答弁** 県では、がん診療拠点病院や医師会と連携し、すべての医療従事者を対象に研修会を実施し、緩和ケアの質に差がないよう努めている。また、中部地域の拠点病院では、病院内に緩和ケアセンターを設置し、専門的な緩和ケアを提供する高度型の拠点病院の指定を受けようとする動きがある。質の高い緩和ケアを提供できる体制整備に努めています。



### 「発達障がいのある児童生徒に関する義務教育と高校教育の連携について」

**質問** 発達障がいのある生徒の支援体制を構築するためには、小・中・高の連携、学校間の情報引き継ぎが必要であり、県教育委員会の取り組みをお伺いいたします。

▶ **教育長答弁** 市町教育委員会と連携し、情報の引き継ぎこそ生徒の安定した学校生活に繋がることを徹底いたします。そして、発達障害のある生徒が、安心して教育を受けられるよう、義務教育と高校教育の連携を進めます。



満員の傍聴席

傍聴室に入れない方は、別室のモニターで傍聴されました

### その他、下記の項目を質問いたしました。

- 県中西部地域におけるファルマバレープロジェクトの展開について
- 水素エネルギーの活用と水素社会の実現について
- 藤枝高田工業団地造成事業の早期完成にむけて